

障害クラス分け表

【チーム戦、ペア戦、個人戦(オープンクラス)】

クラス	対象	投球	補助具	アシスタント	備考
オープン	障害者手帳(身体/療育/福祉)の交付を受けている人★	○	△ ※備考欄 要確認	△ ※備考欄 要確認	【アシスタント】 車いすを動かす・ボールを渡す等の介助が必要とされる選手のみ介助「スポーツアシスタント」(以下 SA))、投球が困難な場合は「ランプオペレーター」(以下 RO)をつけることができる。 【補助具】 投球が困難な場合は、補助具の使用を認める。

★＝指定難病受給者証や児童通所受給者証の交付を受けている人等、障害が同等と認められる人も対象となります。

【個人戦(BC1～BC4)】

クラス	対象	投球	補助具	アシスタント	備考
BC1	脳原性疾患	○ ※足蹴り可	×	○	アシスタント(SA)が車いすの操作、ボールを渡すなどアシストできる。
BC2	脳原性疾患	○	×	×	上肢での車いす操作がある程度可能。
BC3	脳原性疾患 非脳原性疾患	×	○	○	自身での投球ができないため、アシスタント(RO)によるアシストにてランプ(補助具)を使用する。
BC4	非脳原性疾患	○ ※足蹴り可	×	△ ※足蹴り選手のみ可(SA)	BC1・BC2 と同等の四肢運動機能障害を有する(頸髄損傷、筋ジストロフィーなど)。

※補助具(ランプなど)を使用する筋ジストロフィーの選手は、BC3で申し込むこと。

アシスタントについて

【ランプオペレーター】(RO と表記)

選手の指示通りにランプを動かして選手をアシストする。RO は、選手のスローイングボックス内に位置し、エンド中はプレイングエリアを見てはならない。RO の業務は以下の通りである。

- ・選手からの指示を受けて、ランプを動かす。
- ・選手からの指示を受けて、選手の位置や車いすを調整または固定する。
- ・選手からの指示を受けて、ボールを丸めたり渡したりする。
- ・エンド終了後、ボールを回収する。
- ・審判の許可なく FOP(フィールドオブプレイ:全コートを含むエリア。タイマーのいるスコアテーブルも含む。)に入ってはならない。

【スポーツアシスタント】(SA と表記)

選手のスローイングボックスの後方に位置し、選手から指示があった時にスローイングボックスに入ることができる。SA はランプの調整を除き RO と同様の業務を行う。

【全国障害者スポーツ大会ルール部門】

		区分番号	障害区分	競技スタイル	
				立位	座位
肢 体 不 自 由	1	切断・機能障害	1 多肢切断 両下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全	○	
	2	脳原性麻痺以外で 車いす常用、使用	2 第 6 頸髄まで残存		○
			3 第 7 頸髄まで残存		○
			4 第 8 頸髄まで残存		○
			5 多肢切断		○
	3	脳原性麻痺、(脳性麻痺、 脳血管疾患、脳外傷等)	6 四肢麻痺で車いす常用または、使用		○
			7 けって移動		○
			8 片上下肢で車いす常用または、使用		○
			9 その他走不能	○	
	4		10 電動車いす常用		○

※座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルを言う。

※移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者にスポーツアシスタントを 1 名、ランプ使用者にはランプオペレーターを 1 名のみつけることができる。

※立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

※脳原性麻痺で、四肢に可動域制限や協調運動障害がある者で上肢による車いす使用者はすべて四肢麻痺(区分 6)として区分判定する。

※区分 10 は、四肢もしくは三肢体幹機能障害により電動車いすを常用している者を対象とする。